

教科に関する調査の結果・分析

(1) 本町における特徴的な傾向

<小学校国語A>

○強み

- ・問題1二1：平均正答率65.7%（三重県 57.7%、全国 58.4%）

無解答率4.5%（三重県 15.8%、全国 17.2%）

学年別配当表に示されている漢字を正しく書くことができます。

- ・問題2一：平均正答率56.7%（三重県 51.5%、全国 53.1%）

無解答率0.0%（三重県 0.5%、全国 0.6%）

文の中における主語を捉えることができます。

○弱み

- ・問題4：平均正答率82.1%（三重県 85.9%、全国 86.0%）

無解答率0.0%（三重県 0.3%、全国 0.3%）

具体的な事例を挙げて説明する文章を書く力をつける必要があります。

■全体の傾向から見られる課題

- 読み取った情報を条件に合った記述をすることが難しい。

<小学校国語B>

○強み

- ・問題2三：平均正答率52.2%（三重県 43.9%、全国 41.6%）

無解答率3.0%（三重県 10.2%、全国 8.7%）

文章と図とを関係付けて、自分の考えを書くことができます。

- ・問題3二：平均正答率79.1%（三重県 65.6%、全国 66.6%）

無解答率4.5%（三重県 16.0%、全国 15.1%）

登場人物の気持ちの変化を想像しながら読むことができます。

○弱み

- ・問題2一ア：平均正答率68.7%（三重県 75.1%、全国 75.5%）

無解答率0.0%（三重県 3.4%、全国 3.6%）

目的に応じ、中心となる語や文を捉える力をつける必要があります。

■全体の傾向から見られる課題

- 説明的文章の読解において、重要となる語句を見つけることが難しい。

<小学校算数A>

○強み

- ・問題1(3): 平均正答率 89.6% (三重県 82.9%、全国 82.0%)
無解答率 0.0% (三重県 2.0%、全国 2.0%)

加法における計算の確かめの方法を理解することができています。

- ・問題6(2): 平均正答率 77.6% (三重県 66.6%、全国 67.6%)
無解答率 1.5% (三重県 2.8%、全国 3.4%)

見取図と展開図を関連付けて、立体図形の辺や面の位置関係を理解することができています。

○弱み

- ・問題5(2): 平均正答率 58.2% (三重県 63.0%、全国 64.5%)
無解答率 1.5% (三重県 2.0%、全国 2.4%)

円の性質から三角形の等辺を捉えたり、二等辺三角形の性質から低角の大きさを求めたりする力をつける必要があります。

■全体の傾向から見られる課題

- 図形の概念を身につけ、解答を導くために適切に使う力をつけることが課題となっています。

<小学校算数B>

○強み

- ・問題1(1): 平均正答率 98.5% (三重県 95.5%、全国 95.2%)
無解答率 0.0% (三重県 0.1%、全国 0.1%)

平行四辺形を構成することができる辺の組合せを理解することができています。

- ・問題1(2): 平均正答率 61.2% (三重県 55.7%、全国 54.6%)
無解答率 0.0% (三重県 0.8%、全国 1.0%)

図形の作図の方法に用いられる約束や図形の性質を理解することができています。

○弱み

- ・問題1(3): 平均正答率 19.4% (三重県 26.0%、全国 27.7%)
無解答率 7.5% (三重県 15.6%、全国 14.3%)

図形の性質を記述によって説明する力をつける必要があります。

- ・問題4(1): 平均正答率 44.8% (三重県 51.3%、全国 52.6%)
無解答率 3.0% (三重県 2.7%、全国 2.4%)

四捨五入して千の位までのおよその数にして計算する力をつける必要があります。

■全体の傾向から見られる課題

- 図形の性質等、数学的な説明を言語によって説明する力をつける必要がある。

<小学校理科>

○強み

- ・問題 1 (3) : 平均正答率 74.2% (三重県 62.3%、全国 62.8%)
無解答率 0.0% (三重県 0.9%、全国 1.1%)
熱膨張が小さい金属について、グラフを基に考察して分析した内容を記述することができています。
- ・問題 1 (5) ア : 平均正答率 84.8% (三重県 73.0%、全国 72.7%)
無解答率 0.0% (三重県 0.7%、全国 0.9%)
電磁石の働きを利用した振り子について、試行した結果を基に自分の考えを改善することができています。

○弱み

- ・問題 3 (2) : 平均正答率 43.9% (三重県 51.7%、全国 54.0%)
無解答率 0.0% (三重県 0.7%、全国 0.7%)
結果を見通して実験を構想する力をつける必要があります。
- ・問題 4 (1) : 平均正答率 31.8% (三重県 38.6%、全国 41.0%)
無解答率 0.0% (三重県 1.7%、全国 2.0%)
観察した事実と関係付けながら、情報を考察して分析する力をつける必要があります。

■全体の傾向から見られる課題

- 見通しを持って実験を構想するとともに、観察結果を考察して分析する力をつける必要がある。

<中学校国語 A>

○強み

- ・問題 1 二 : 平均正答率 71.0% (三重県 64.8%、全国 65.0%)
無解答率 8.6% (三重県 11.1%、全国 12.0%)
聞き手を意識し、わかりやすい語句を選択して話す力がついています。
- ・問題 9 - 2 : 平均正答率 77.4% (三重県 70.0%、全国 72.1%)
無解答率 6.5% (三重県 9.5%、全国 10.1%)
文脈に即して漢字を正しく書くことができています。

○弱み

- ・問題 3 一 : 平均正答率 47.3% (三重県 60.4%、全国 58.3%)
無解答率 0.0% (三重県 0.3%、全国 0.4%)
文章表現の技法について理解する力をつける必要があります。
- ・問題 4 一 : 平均正答率 58.1% (三重県 67.8%、全国 67.6%)
無解答率 1.1% (三重県 4.0%、全国 4.2%)
伝えたい事実を明確に書く力をつける必要があります。

■全体の傾向から見られる課題

- 読み取った情報を条件に合った記述をすることが難しい。

<中学校国語B>

○強み

- ・問題2二：平均正答率 76.3%（三重県 66.2%、全国 67.8%）
無解答率 0.0%（三重県 0.3%、全国 0.3%）

文章の中心的な部分と付加的な部分などを読み分け、要旨を捉えることができます。

○弱み

- ・問題2一：平均正答率 76.3%（三重県 81.9%、全国 82.6%）
無解答率 0.0%（三重県 0.2%、全国 0.3%）

目的に応じて文章を要約する力をつける必要があります。

■全体の傾向から見られる課題

- 説明的文章の読解において、ことが難しい。

<中学校数学A>

○強み

- ・問題2（4）：平均正答率 64.5%（三重県 55.6%、全国 57.0%）
無解答率 6.5%（三重県 6.9%、全国 7.9%）

文字を用いた式で数量の関係を説明するための構想を理解することができます。

- ・問題7（3）：平均正答率 55.9%（三重県 48.6%、全国 48.1%）
無解答率 0.0%（三重県 0.7%、全国 0.9%）

作図の根拠として用いられている平行四辺形になるための条件を理解することができます。

○弱み

- ・問題5（3）：平均正答率 72.0%（三重県 83.4%、全国 83.8%）
無解答率 0.0%（三重県 0.3%、全国 0.4%）

与えられた投影図から空間図形を読み取る力をつける必要があります。

- ・問題14（1）：平均正答率 34.4%（三重県 42.4%、全国 46.0%）
無解答率 7.5%（三重県 8.6%、全国 9.7%）

与えられた資料から中央値を求める力をつける必要があります。

■全体の傾向から見られる課題

- 図形の概念を身につけ、解答を導くために適切に使う力や、資料を適切に読み取る力をつけることが課題となっている。

<中学校数学B>

○強み

- ・問題 1 (3) : 平均正答率 19.4% (三重県 11.2%、全国 11.7%)
無解答率 1.1% (三重県 4.9%、全国 5.6%)

数学的な表現を用いて事象を説明することができます。

- ・問題 4 (2) : 平均正答率 63.4% (三重県 50.7%、全国 49.6%)
無解答率 15.1% (三重県 17.1%、全国 18.6%)

発展的に考え、図形の条件を変えた場合について証明することができます。

○弱み

- ・問題 4 (1) : 平均正答率 34.4% (三重県 41.9%、全国 42.5%)
無解答率 0.0% (三重県 1.0%、全国 1.2%)

証明を振り返り、新たな性質を見いだす力をつける必要があります。

■全体の傾向から見られる課題

- 自らの考えを振り返り、違った考え方を見つける力をつける必要がある。

<中学校理科>

○強み

- ・問題 7 (1) : 平均正答率 64.5% (三重県 71.2%、全国 72.2%)
無解答率 0.0% (三重県 0.7%、全国 0.9%)

デンプンが消化酵素によって分解されて、最終的にできる物質の名称を表すことができます。

- ・問題 8 (2) ア : 平均正答率 64.5% (三重県 59.6%、全国 55.7%)
無解答率 0.0% (三重県 1.2%、全国 1.4%)

平均値を求める理由を説明することができます。

○弱み

- ・問題 1 (3) : 平均正答率 45.2% (三重県 53.0%、全国 53.0%)
無解答率 19.4% (三重県 17.9%、全国 18.8%)

実験方法の正確性について説明する力をつける必要があります。

- ・問題 2 (3) : 平均正答率 6.5% (三重県 14.2%、全国 14.5%)
無解答率 3.2% (三重県 5.8%、全国 6.7%)

他者の考察を検討して改善し、正しく説明する力をつける必要があります。

■全体の傾向から見られる課題

- 見通しを持って実験を構想するとともに、観察結果を考察して分析する力をつける必要がある。